

## 2019年度 学校経営計画及び学校評価

### 1 めざす学校像

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、その人格・個性が尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- 〔1〕 個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- 〔2〕 自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- 〔3〕 実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- 〔4〕 礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

### 2 中期的目標

【1】 建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定し実践する。

- (1) あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。
  - ア 学年・校務分掌等の教育計画を改善し、理念・方針を浸透させる。
- (2) 教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。
  - ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。
  - イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。
- (3) 総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。
  - ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。

【2】 18歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。

- (1) 学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。
  - ア 基礎的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。
  - イ 対話力や課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。
- (2) 生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。
  - ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。
  - イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。
- (3) 部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。
  - ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。
  - イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。
- (4) あらゆる教育活動において、良き市民、社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。
  - ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。
  - イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。
- (5) 国際交流を推進し多様な文化を理解し共生できる国際的資質を育む。
  - ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修生・留学生の受入れを実施する。
  - イ 英語科およびあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。

**【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。**

- (1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。
  - ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。
  - イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。
- (2) 生徒が抱えている課題に対して、そのニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。
  - ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。
  - イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。

**【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。**

- (1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、それを実現させるための能力を養う。
  - ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する。
  - イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。
- (2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。
  - ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。
  - イ 放課後や長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。

**【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。**

- (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。
  - ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。
  - イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

**【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】**

学校教育自己診断の結果と分析 [2020年2月実施予定]	学校協議会からの意見
<ul style="list-style-type: none"><li>・評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う。</li><li>・評価方法： 各項目について、5段階評価で行う。<ul style="list-style-type: none"><li>5：その通りである      4：どちらかといえばその通りである</li><li>3：どちらともいえない      2：どちらかといえば違う</li><li>1：まったく違う</li></ul></li></ul>	＜学校評価委員会を開催＞ 2020年5月実施予定

3 本年度の取組内容及び自己評価

【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
【1】 建学の精神と教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画の策定・実践	【1】(1) 教育理念・教育方針に基づく教育計画の再編成 (2) 教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備	【1】(1) 4月に各学年・各校務分掌で、教育理念・教育方針を踏まえた指導目標・教育活動計画を策定し、その目標の実現に努める。 (2) ア教職員資質向上のため新学習指導要領や新しい大学入試制度等教育課題にかかわる教職員研修の充実を図る。イ会議・委員会では、教育課題や指導問題についてよく話し合い有効な実践につなげる。 ウより良い教育実践のために、教員間のコミュニケーションや連携を図る。	【1】(1) 4月の学年や分掌の目標や計画の重要性から自己評価点を4.0以上とする。 (2) 新学習指導要領も公示され、一部先行実施も求められているので、研修を充実させ自己評価点を4.0以上とする。	
【2】 高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤の養成	【2】(1) 主体的・対話的な深い学び（AL 授業）の実践 (2) 集団・社会に貢献できる態度・実行力 (3) 部活動を通して心身の鍛錬 (4) 市民性を育む教育 (5) 国際的資質を育む教育	【2】(1) ア基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組み、内部での授業公開を定例化する。イ思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行う。 ウ課題解決能力を養うための主体的・協働的な授業を実践する。 (2) ア基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導をしっかりと行う。 イクラス活動や行事活動を通して協働や責任感などの社会性を身につける指導を行う。 (3) ア短い活動時間で集中し、技術や精神力など自らの心身を主体的に鍛える指導を実践する。 イ協調性や行動力など社会性を身につけるようチームワークを重視した指導を行う。 (4) 18歳の選挙権を見すえ市民性・主権者意識を育む教育を実践する。 (5) 海外からの研修生・留学生を受入れ、また、本校から研修生・留学生を派遣し、これからの社会で必要な国際感覚を育てる。	【2】(1) ア自己評価点を4.0とする。 イ自己評価点を3.8とする ウ既に実践している先生方の事例を参考にし多くの教員による実践をめざし、自己評価点を3.8とする。 (2) ア自己評価点を4.1を目指す。 イ自己評価点を4.0とする。 (3) ア自己評価点を4.1とする。 イ自己評価点を4.0とする。 (4) 自己評価点を3.5とする。 (5) 自己評価点を4.4とする。	
【3】 人としての在り方・生き方を考え、他者と共に より良く生きていくための人権意識	【3】(1) 自己・他者が共に より良く生きていくための人権意識 (2) 一人ひとりのニーズに応じた指導	【3】(1) ア学年別にテーマを決め、多様な人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施する。 イ学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。 ウ年3回のいじめアンケートの実施等、普段から生徒の日々様子をしっかりと観察する。 (2) ア様々な課題を抱える生徒一人ひとりをしっかりと理解し、丁寧に対応し支援を行う。 イ生徒のニーズを把握し教職員が連携しチームとして特別支援教育を実施する。	【3】(1) ア自己評価点を4.0とする。 イ自己評価点を3.9とする。 (2) ア自己評価点を4.1とする。 イ自己評価点を3.7とする。	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
【4】 進路目標の実現に向けて、未来を切り拓くキャリア教育・進路指導	【4】(1) 未来の目標を実現する能力  (2) 生徒の目標を実現させる進路相談・支援	【4】(1) ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を行う。 イ 職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。  (2) ア 進学や就職にかかわる進路情報を提供し、相談・助言を行う。 イ 生徒のニーズに対応した放課後・休業中の講習を実施する。	【4】(1) ア 自己評価点を 3.9 とする。 イ 自己評価点を 4.0 とする。  (2) ア 自己評価点を 4.2 とする。 イ 自己評価点を 4.0 とする。	
【5】 安心・安全な社会を築くための態度と行動力の養成	【5】(1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施	【5】(1) ア マニュアルに沿った避難訓練、大阪 880 万人訓練等地震・津波・火災等、防災・減災に向けた訓練を実施する。 イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施する。  (2) 「危機管理マニュアル」の検討を行う。	【5】ア 自己評価点を 4.3 とする。 イ 自己評価点を 4.0 とする	